



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2018-2019年度 国際ロータリーのテーマ

2018年



インスピレーションになるう

BE THE INSPIRATION

R.I 会長 バリー・ラシン

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 松島宏明 幹事 木村洋一

クラブ会報・情報委員会 飯塚荘一・大島千賀子・飯山順一郎

8月20日号

第3079回例会

(8月6日(月)第1例会)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 点 鐘 | 10. 委員会報告 |
| 2. 国歌斉唱 | 11. 卓 話 「新年度を迎えて」 |
| 3. 桐生市歌斉唱 | 職業奉仕委員長 野間 義弘君 |
| 4. 四つのテスト唱和 | 社会奉仕委員長 腰塚 富夫君 |
| 5. 来訪者紹介 | 国際奉仕委員長 荒木千恵子さん |
| 6. 結婚・誕生祝 | 青少年奉仕委員長 松田 秀夫君 |
| 7. 乾 杯 | R 財団・米山奨学室長 須永博之君 |
| 8. 会長の時間 | 12. 点 鐘 |
| 9. 幹事報告 | |

結婚祝 ランドルフ留利子さん

誕生祝

富澤 剛君
長竹 伯晶君



と答える一説があります。もちろん当時ピカソがそう言ったかどうかわかりませんが、作者の思いが強く感じられるところとして印象的です。ゲルニカと少しダブル印象を受けるのが、大川美術館の松本俊介の“街”です。モチーフや時間的背景は違いますが、戦争からの再生を描いているように感じられます。当時大川栄二初代館長はこの絵の事を“様々な音を感じられると同時に、まったく静かな作品”と言っていました。耳の不自由な松本俊介の感性が生み出した作品です。

《報 告》

- ・7/30 第1回会長候補者推薦委員会
- ・例会前、第2回会長候補者推薦委員会

《予 定》

- ・8/7 親睦活動委員会家庭集会
- ・8/8 青少年奉仕委員会家庭集会
- ・8/13 休会
- ・8/18 地区ロータリー財団セミナー
会長・会長エクソ・幹事・副幹事

幹事報告

- ・ガバナー事務所より夏季休暇のお知らせが届いております。
- ・第14回桐生市マーチングフェスティバルの開催案内が届いております。
- ・桐生西 RC より週報到着。
- ・次週13日(月)は、休会です。次回例会は、20日(月)となります。尚、事務局は、桐生倶楽部休館に伴い13

会長の時間

8月6日は73年前に、広島に原爆が落とされた日です。2011～2012年にRI会長を務められた田中作治さんが、世界平和フォーラムを開催したいと発表した折に、その3か所の開催場所の一つが広島でした。地区幹事であったこともあり、その年の5月に広島を訪れました。広島は今もまだ8月6日の記憶をとどめ、忘れてはならない事と世界中に発信し続けています。当時2歳で被爆し12歳で亡くなるまで、願いを込め折鶴を折り続けた一人の少女の記憶を、その体験とともに忘れてはなりません。

今日の一冊は『暗幕のゲルニカ』です。ゲルニカはある意味でのピカソの代表作で、当時のパリ万博のスペイン館の壁画として作成されました。ゲルニカはスペインの小さな町ですが、連合軍の突然空爆を受けて壊滅します。絵に描かれているのは空爆の姿でも銃を撃つ姿でもなく、空を見上げて苦しむ表情の人や動物の姿です。小説の中に“この作者は誰か？とナチスの兵士に問われたピカソが、この作品の作者はあなたただ！”

日(月)～16日(木)までお休みとなります。

・例会終了後、定例理事会を開催致しますので、関係理事役員の方々は、ご出席お願い致します。ります。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成30年8月6日)

総員61名:出席37名

平成30年7月23日例会修正出席率:75%

😊 ニコニコボックス

館盛治君…結婚・誕生祝の乾杯をさせていただきます／野間義弘君、須永博之君、荒木千恵子さん、松田秀夫君、腰塚富夫君…本日、卓話をさせていただきます／富澤剛君、長竹伯晶君…誕生祝。

卓話



「新年度を迎えて」

職業奉仕委員長

野間 義弘 君

職業奉仕委員長の野間です。副委員長に川島崇史君、委員に久保田寿栄君、小林康人君の4人で、奉仕プロジェクト室増山大祐室長のもと、活動していきたいと思っております。本年度事業計画について発表させていただきます。今年度の目標 職業奉仕の概念は「ロータリー綱領」の第2項に示されている通り、①職業の道德水準を高めること、②有用な職業はすべてその価値を認めること、③各ロータリアンの職業を社会奉仕の一つの機会として品位あらしめることの3点が挙げられていて、職業奉仕とは「職業の道德性と品位を高め、その価値を認めること」が主な目的であると思われまます。以上をふまえて下記の活動を展開していく。

前半の活動及び予定、毎月第一例会における4つのテストの唱和、その他必要に応じた活動、後半の活動予定、毎月第一例会における4つのテストの唱和、優良従業員表彰の実施、2019年1月28日の例会で行います。その他必要に応じた活動。

職業奉仕委員会が皆様にお伝えしなければならない大切なこと、それは、ロータリーの誕生、理念、目的、職業宣言です。皆様ご承知の通り、ロータリーは20世紀初頭にシカゴで誕生しました。当時のシカゴは、著しい社会経済の発展の陰で商業道德の欠如が目につくようになっていました。ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人(シルベスター・シール(初代会長)、ハイラム・ショーレー、ガスターバス・ローア)と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番

に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日シカゴロータリークラブが誕生しました。

このように、歴史的にみても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々まで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。ロータリーの理念、ロータリーは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道德的水準を守ることがを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である。

ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。第1知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。第2職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値のあるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。第3ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。第4奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

職業宣言

(1989年規定審議会)

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は下記の要請に応えんとするものである。

- 1) 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘ぜよ
- 2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道德基準に対し、名実ともに忠実であれ
- 3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的規準を推進すべく全力を尽くせ
- 4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係をもつすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし
- 5) 社会に有用なすべての業務に対して当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ
- 6) 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の質を高めよ
- 7) 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うに当っては正直専一なるべし
- 8) 事業または専門職務上の関係において普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与うることなかれ

以上ご清聴ありがとうございました。



「新年度を迎えて」

社会奉仕委員長
腰塚 富夫 君

奉仕活動を通じて地域社会に貢献すると共にロータリーアンひとりひとりが奉仕の精神を実施していきたいと考えます。又、他団体との協同参加を促進する役目を進めたいと思います。

- ・クラシックカーフェスティバルへの協力
- ・桐生が岡公園南口広場の清掃
- ・足尾植樹例会への参加



「新年度を迎えて」

国際奉仕委員長
荒木千恵子さん

松島会長の提唱する重要事項を基本として従来からの国際奉仕委員会の活動を進めてゆきたい。

- ・4RCと群馬大学工学部留学生との交流会の企画運営を行う
- ・米山奨学生のサポートを行う
- ・国連 UNHCR 協会に対する支援を行う
- ・国際大会への参加啓蒙
- ・2月の世界理解月間の卓話を計画



「新年度を迎えて」

青少年奉仕委員長
松田 秀夫 君

今年度、青少年奉仕委員会の委員長となりました松田秀夫です。よろしくお願いいたします。副委員長には桑原さん、北川さん、委員には堀さん、飯塚さん、堀越さん、担当室長には増山さんと素晴らしい布陣で今年度、委員会活動をさせていただきます。

大きな担いとしましては、インターアクトクラブとローターアクトクラブの支援と善行青少年表彰の実施です。

まず、インターアクトクラブですが、桐生第一高校のインターアクトクラブの皆さんの支援をしてみたいと思います。もうすでに、7月7日の合同会議、7月21日の年次大会につきましては、滞りなく終了いたしました。また、ローターアクトクラブですが、総勢6名で頑張っております。第一に会員の増員を目指しており、今年度から会費を無料にしております。皆様の会社で30歳未満の社員の方がおりましたら、ぜひ、ローターアクトクラブへの御入会をお願いいたします。

最後に9月10日に行われます善行青少年表彰ですが、

こちらは会場を桐生倶楽部から桐生市民文化会館に移し、開催いたします。多くの会員の皆様で表彰をしたいと思っておりますので、ぜひ、ご参加をお願いいたします。1年間、精一杯頑張ってみますので、何卒よろしくお願ひいたします。



「新年度を迎えて」

ロータリー財団
米山奨学委員長
須永 博之 君

本年度室長を務めます須永です。よろしくお願いいたします。ロータリー財団は、大友一之委員長、米山奨学は、小林雅子委員長です。

大友委員長は、財団に関しては精通している委員長です。すのでお任せします。また、小林委員長の米山奨学も委員長の気配りに加え本田さん、竹内さんのベテラン委員がおられますので、安心してお任せできます。

さて、両事業の寄付は、当クラブでは年会費と一緒に皆様にお支払いいただいております。米山奨学金寄付は、毎年13,000円をこのところ寄付をさせて頂いており累計額は、5,000万円を超えています。

ロータリー財団も一人150ドルで、111円換算で約16,650円として65名換算で年間1,082,250円を寄付させて頂いていただいております。累計額も米山奨学金以上の寄付金になっております。

ところで、2016年度に私が長期計画特別委員会委員長をさせて頂き、会員アンケートを実施した際に、その項目の中で、両寄付金について質問した項目があります。回収率約60%ですが、活動内容について、米山奨学80%、ロータリー財団70%が適当である。と答えておりますが、寄付金については、両方とも23%の方が過度であると答えておられます。このギャップが何かを検討することが必要ではないかと考えています。

余談ですが、そのアンケートの中で、63%の会員が社会奉仕、青少年奉仕を今後の重点活動に取り組むべきであると答えております。

言い換えれば、地域貢献を求めているのかと思います。そして、その事業計画は83%の会員が中長期計画を立てるべきとしています。

室として、次年度会長として考えてゆきたいと思ひます。

本日の食事



たつ吉 うな重

✿本日のお花✿

